

This installation manual is for the Japanese market only. When using the YA-1000A module for the V-1000 series amplifiers, please refer to the English manual on the reverse side

工事説明書

故障検出ユニット

YA-1000A

このたびは、TOA故障検出ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 正しくご使用いただくために、必ずこの工事説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますよう お願い申し上げます。

安全上のご注意

行為を禁止する記号



行為を強制する記号

電源プラグ を抜け



誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつ く可能性のあるもの。

万一、異常が起きたら

次の異常が起きたら本ユニットが組み込まれているパワーアンプパ ネルの電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- ●煙が出ている、変なにおいがするとき ●内部に水や異物が入ったとき
- ■落としたり、ケースを破損したとき
- ●電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)
- ●音が出ないとき

設置工事は販売店に依頼する

工事は、技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。 火災・感電の原因となります。



組み込み・接続のときは、パワーアンプの電源を切る パワーアンプパネルに電源が供給されたまま作業すると、感電の原 因となります。



を抜け

水にぬらさない

本ユニットおよび本ユニットが組み込まれているパワーアンプパネ ルに水が入らないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。 火災・感電の原因となります。



内部を改造しない

本ユニットが組み込まれているパワーアンプパネルの内部には 電圧の高い部分があり、改造したりすると、火災・感電の原因と なります。



分解禁止

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

内部に異物を入れない

本ユニットが組み込まれているパワーアンプパネルの通風口な どから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、 落し込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

概要

パワーアンプパネルに組み込み、パワーアンプパネルの故障を検出する故障検出ユニット

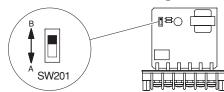
<u>ご注意</u> 本ユニットは、パワーアンプパネルの並列運転時には動作しませんので使用しな いでください。

TOA株式会社

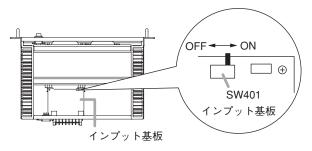
組み込み

1. YA-1000A ユニットの SW201 を「B」に切り換える。

※ 工場出荷時、YA-1000A ユニットの SW201 は「A」に設定されています。



2. パワーアンプパネルの天板を外し、インプット基板の SW401 を「ON」に切り換える。



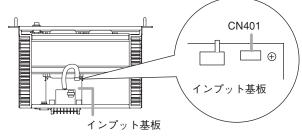
3. パワーアンプパネルの後面にあるノックアウトパネルをニッパーなどで切り離す。



4. ノックアウトパネルを切り離したところに、付属の取付ねじ3×8(2本)でYA-1000A を取り付ける。



5. YA-1000A ユニットのコネクターを、パワーアンプパネルのインプット基板の「CN401」 に差し込む。



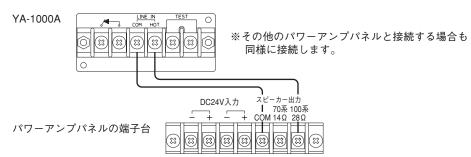
6. パワーアンプパネルの天板を元どおりに取り付ける。

接続

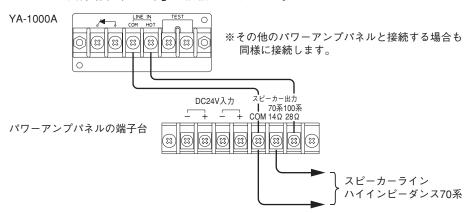
1. パワーアンプパネルのスピーカー出力端子「COM」と YA-1000A の LINE IN 端子の 「COM」を接続する。

パワーアンプパネルのスピーカー出力端子「100系」と YA-1000A の LINE IN 端子の 「HOT」を接続する。

[例] PA-3630と接続するとき



ご注意 パワーアンプパネルのスピーカー出力は 100V 以外の電圧でも使用できます。この 場合でもYA-1000AのLINE IN端子の「HOT」はパワーアンプパネルのスピー カー出力端子「100系」と接続してください。



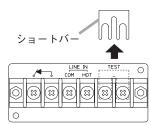
2. 付属の端子台カバーを付属の取付ねじ M4 × 6(2本) で YA-1000A の端子台に取り付け る。



動作確認

1. パワーアンプパネルに電源(AC100 V)を供給する。

- パワーアンプパネル前面の電源表示灯が緑色に点灯することを確認します。
- YA-1000Aの故障検出出力端子(ペー・表示部)がブレイクしていることを確認します。
- 2. パワーアンプパネルに組み込んだ YA-1000A の TEST 端子のショートバーを外す。



- パワーアンプパネル前面の電源表示灯が赤色に 点灯することを確認します。
- YA-1000Aの故障検出出力端子(ペー、表示部) がメイクしていることを確認します。

3. YA-1000Aの TEST 端子のショートバーを元どおりに取り付ける。

故障検出出力がメイクする条件

パワーアンプパネル			故障検出出力端子
電源供給	状 態	電源表示灯	(リレー接点)
有	正常	緑色点灯	ブレイク
	故障	赤色点灯	メイク
無	正常/故障	消灯	メイク

仕 様

電源	DC24 V(パワーアンプパネルより供給)
消費電力	20 mA
入力	LINE IN : パワーアンプパネルの出力 (ハイインピーダンス 100 系) に接続
故障検出表示	パワーアンプパネルの電源表示灯が赤色点灯*
故障検出出力	リレー接点がメイク(接点容量: DC30 V 1 A)
適合アンプ	PA-620、PA-1220、PA-2430、PA-3630

* AC ヒューズ、DC ヒューズが溶断したときは、パワーアンプパネルの電源表示灯は消灯 します。この場合も故障検出出力のリレー接点はメイクします。

● 付属品

端子台カバー …… 1 取付ねじ3×8 …… 2

取付ねじ M4×6 ······2